

# データヘルス計画

## 第2期計画書

---

最終更新日：平成 30 年 10 月 01 日

東京都木材産業健康保険組合

# STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	23927
組合名称	東京都木材産業健康保険組合
形態	総合
業種	飲食料品以外の小売業

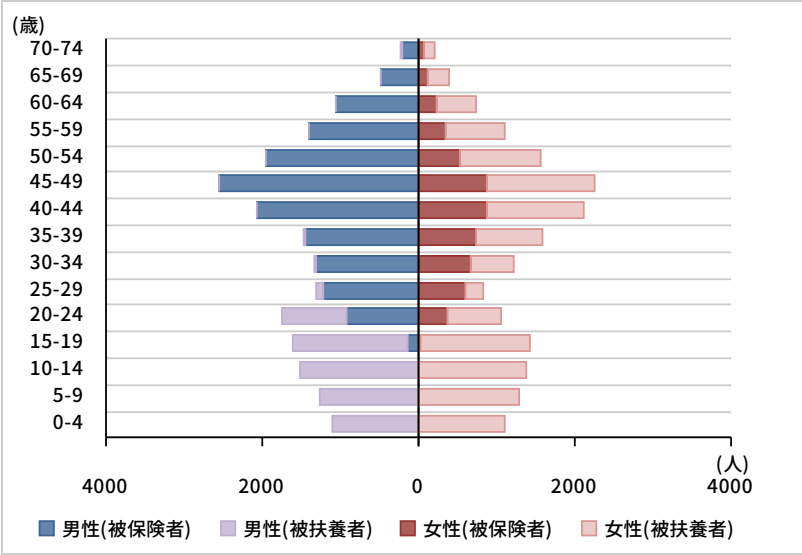
	平成30年度見込み	平成31年度見込み	平成32年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	20,600名 男性73.5% (平均年齢44.1歳) * 女性26.5% (平均年齢41.4歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	39,966名	-名	-名
適用事業所数	820カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	1,200カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	91.0‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	1	1	-	-	-	-

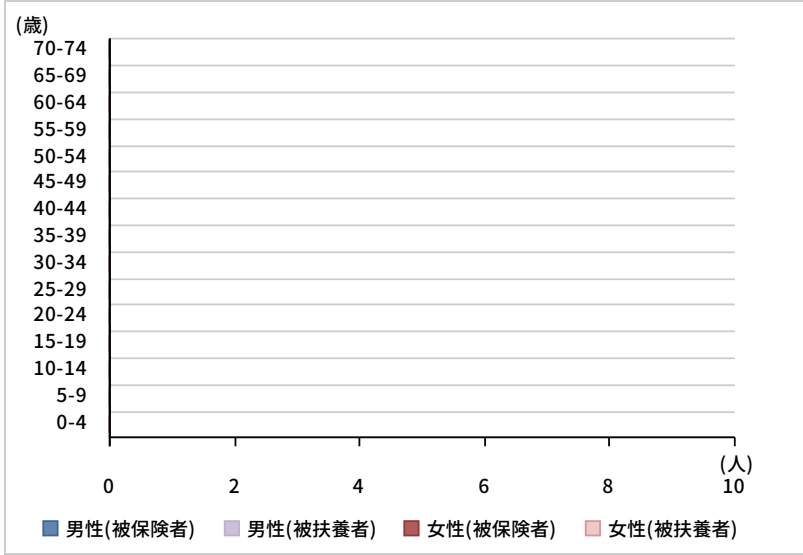
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	11,010 / 18,170 = 60.6 %	
	被保険者	9,010 / 12,876 = 70.0 %	
	被扶養者	2,000 / 5,384 = 37.1 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	300 / 2,000 = 15.0 %	
	被保険者	250 / 1,300 = 19.2 %	
	被扶養者	50 / 700 = 7.1 %	

		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	56,390	2,737	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	6,500	316	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	19,226	933	-	-	-	-
	疾病予防費	461,940	22,424	-	-	-	-
	体育奨励費	3,500	170	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	20,201	981	-	-	-	-
	小計 …a	567,757	27,561	0	-	0	-
経常支出合計 …b	11,223,848	544,847	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	5.06		-	-	-	-	

平成30年度見込み



平成31年度見込み



平成32年度見込み



## 男性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	147人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	923人	25～29	1,213人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,307人	35～39	1,440人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,068人	45～49	2,547人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,962人	55～59	1,401人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,065人	65～69	474人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	215人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	28人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	367人	25～29	603人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	677人	35～39	733人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	883人	45～49	881人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	525人	55～59	354人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	219人	65～69	114人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	78人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	1,113人	5～9	1,265人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,511人	15～19	1,463人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	824人	25～29	97人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	29人	35～39	13人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	10人	45～49	3人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	7人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4人	65～69	3人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	18人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	1,102人	5～9	1,291人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,387人	15～19	1,403人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	695人	25～29	228人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	551人	35～39	849人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,248人	45～49	1,388人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,029人	55～59	750人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	505人	65～69	273人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	144人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

1. 対象となる拠点数が全国にあり、加入者も点在している。
2. 30歳代後半から50歳代前半に加入者構成が偏っている。
3. 当組合には、医療専門職が不在。
4. 疾病予防費の一人当たりの金額が多い。

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

- ・被扶養者における特定健康診査の受診率が低い。
- ・特定保健指導対象者数に対し、指導実施率が低い。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	受動喫煙防止にかかる分煙事業
--------	----------------

#### 加入者への意識づけ

特定保健指導事業	特定保健指導の重要性の周知
----------	---------------

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関誌発行及びホームページの作成
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
疾病予防	定期健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	巡回婦人科健診
疾病予防	禁煙支援事業
疾病予防	巡回型肺がん健診
疾病予防	受診勧奨による重症化予防
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金事業
体育奨励	春季健康ハイキング（潮干狩り）
体育奨励	秋季健康ハイキング

#### 事業主の取組

1	定期健診
---	------

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
予算措置なし	1	受動喫煙防止にかかる分煙事業	【目的】受動喫煙を防止することにより、非喫煙者の呼吸器系疾病の予防 【概要】社内での禁煙化及び分煙化	被保険者	一部の事業所	男女	20～74	全員	0	随時	-	-	-
加入者への意識づけ													
特定保健指導事業	2	特定保健指導の重要性の周知	【目的】特定保健指導を受診することの重要性の意識を高める 【概要】健診機関から対象者へ即時受診勧奨のアプローチ	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	136	・随時 ・特定保健指導契約医療機関を拡充する際、特定健診結果を基に特定保健指導該当者に対し、結果説明の際に特定保健指導についての説明をし、特定保健指導受診の重要性を理解させ、初回面談を実施する契約をする。	特定健診日当日に併せて行うことにより、健康意識が高まっている時に受診者へ働きかけができるため。受診者にとっての利便性が向上。	-	-
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】人間ドック、生活習慣病健診と併せて実施	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	全員	40,821	被保険者 目標者 9,010名 受診数 10,767名 受診率 119.5% 被扶養者 目標者 2,000名 受診数 2,401名 受診率 120%	被保険者は人間ドック等に併せて実施しているため	健診結果の提供に関する契約ができていない医療機関がある	5
特定保健指導事業	-	特定保健指導	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】契約医療機関にて勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	2,950	目標者 225名 積極的支援 68名 動機づけ支援 96名 受診率 72.8%	-	・周知不足 ・対象者の保健指導に対する理解不足 ・参加機会の不足	1
保健指導宣伝	-	機関誌発行及びホームページの作成	【目的】情報発信、健康意識の醸成 【概要】機関誌（健保の運営、収支、健診等健康情報及び公示）の発行ホームページによる情報提供	被保険者被扶養者	全て	男女	-74	全員	1,681	機関誌 年6回発行 事業主宛送付 ホームページ 随時更新	-	・掲載内容の充実を図る	5
	-	後発医薬品の差額通知	【目的】後発医薬品への切替促進 【概要】年1回通知	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	894	4ヶ月に2回以上の処方受診者へ年1回通知	-	該当者の範囲の見直し	5
疾病予防	-	定期健診	【目的】疾病の早期発見、予防 【概要】費用の一部補助	被保険者	全て	男女	18～74	全員	3,886	定期健診単独目標者 3,100名 受診数 3,238名 受診率 104.5%	契約医療機関の拡充	-	5
	-	人間ドック	【目的】疾病の早期発見、予防 【概要】費用の一部補助	被保険者被扶養者	全て	男女	35～74	全員	314,824	目標者 11,000名 受診数 11,191名 受診率 101.7%	契約医療機関の拡充	-	5
	-	生活習慣病健診	【目的】疾病の早期発見、予防 【概要】費用の一部補助	被保険者被扶養者	全て	男女	30～74	全員	80,250	目標者 5,000名 受診数 5,350名 受診率 107%	・対象年齢の引き下げ ・契約医療機関の拡充	-	5
	-	巡回婦人科健診	【目的】婦人科疾患の早期発見、予防 【概要】費用の一部補助	被保険者被扶養者	全て	女性	30～74	全員	16,765	目標者 2,700名 受診数 3,353名 受診率 124.2%	・巡回車を利用しての健診	-	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	-	禁煙支援事業	【目的】喫煙者の生活習慣の見直し 【概要】インターネットを使用した禁煙プログラム。費用の全額補助	被保険者	全て	男女	20～74	基準該当者	109	参加数 3名 成功者 0名	—	・周知不足 ・喫煙による健康への影響度の理解不足	1
	-	巡回型肺がん健診	【目的】疾病の早期発見 【概要】費用の一部補助。巡回車を使い年1回実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	6,903	目標者 750名 受診数 767名 受診率 102.3%	—	利便性の高い実施場所を検討	4
	-	受診勧奨による重症化予防	【目的】早期受診による重症化の予防 【概要】健診結果にて、糖尿病が強く疑われるにもかかわらず、医療機関未受診者への勧奨状を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	30～74	基準該当者	10	勧奨状送付人数 27名 受診者数 5名 受診率 18.5%	—	・糖尿病に対する知識不足 ・自覚症状が現れないため放置している	1
	-	インフルエンザ予防接種補助金事業	【目的】疾病の早期予防 【概要】費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	4,185	目標者数 4,000名 補助金申請者数 4,185名 接種率 104.6%	—	—	5
体育奨励	-	春季健康ハイキング(潮干狩り)	【目的】健康増進 【概要】家族参加型ハイキングの実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	686	募集人数 400名 参加者数 299名 参加率 74.75%	—	参加向上のため日程調整	3
	-	秋季健康ハイキング	【目的】健康増進 【概要】家族参加型ハイキングの実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	2,677	募集人数 500名 参加者数 422名 参加率 84.4%	—	・参加向上の為に参加しやすい企画を検討	4

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

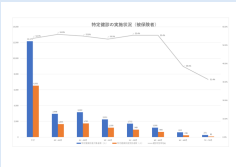
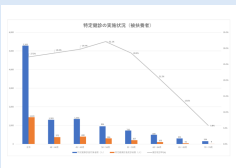


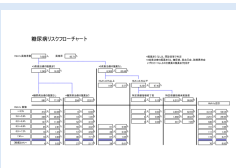
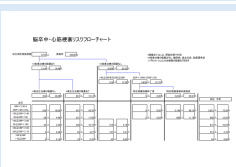
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健診	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18 ～ 74	各種健診と併せて実施	—	—	有

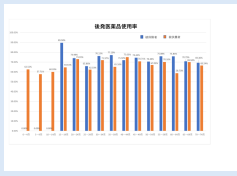


# STEP1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診の実施状況 (被保険者)	特定健診分析	-
イ		特定健診の実実施業況 (被扶養者)	特定健診分析	-
ウ		疾病分類別一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
エ		生活習慣病にかかる一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
オ		糖尿病リスクフローチャート	健康リスク分析	-
カ		脳卒中・心筋梗塞リスクフローチャート	健康リスク分析	-

キ

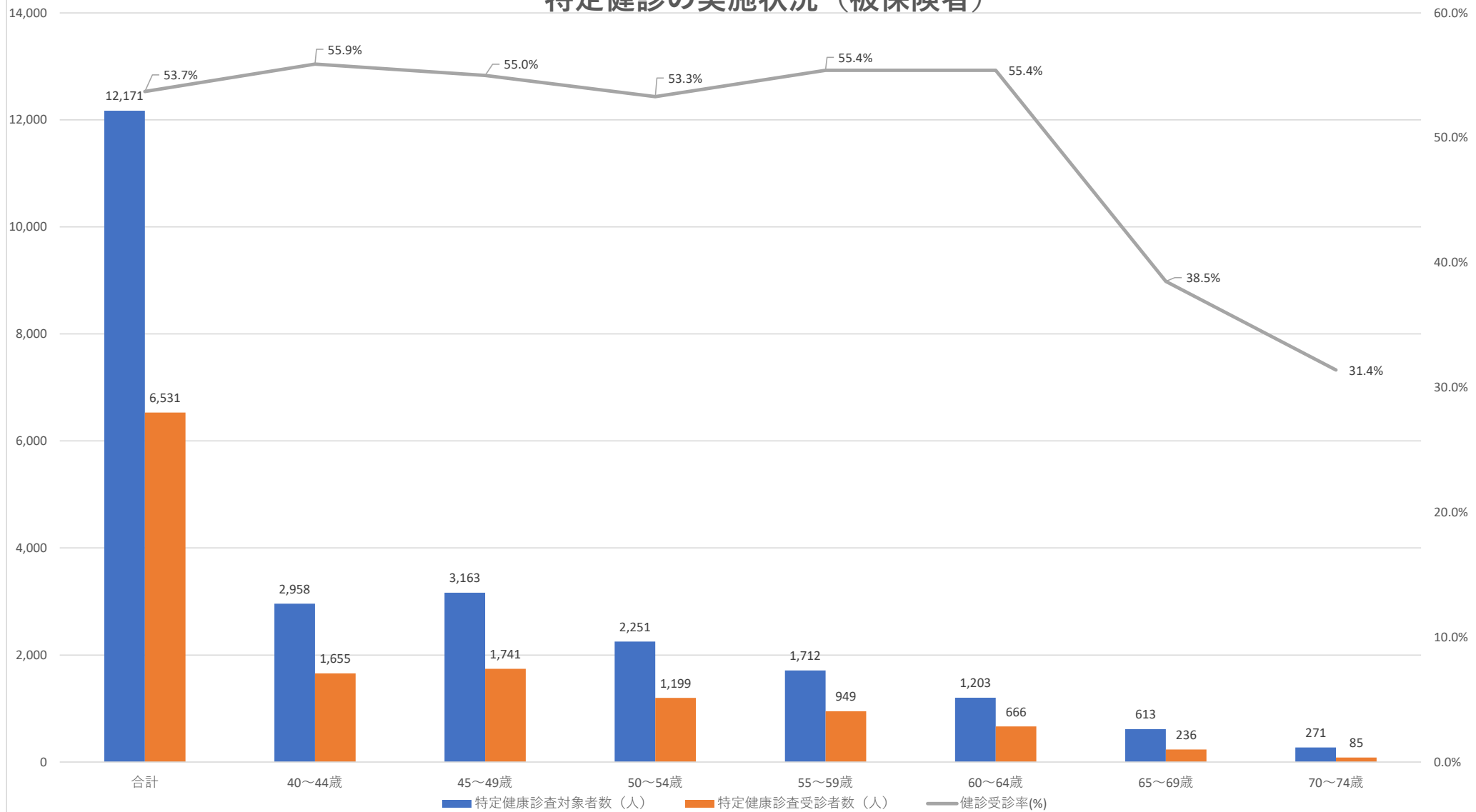


事業所別 調剤医療費と後発医薬品使用率

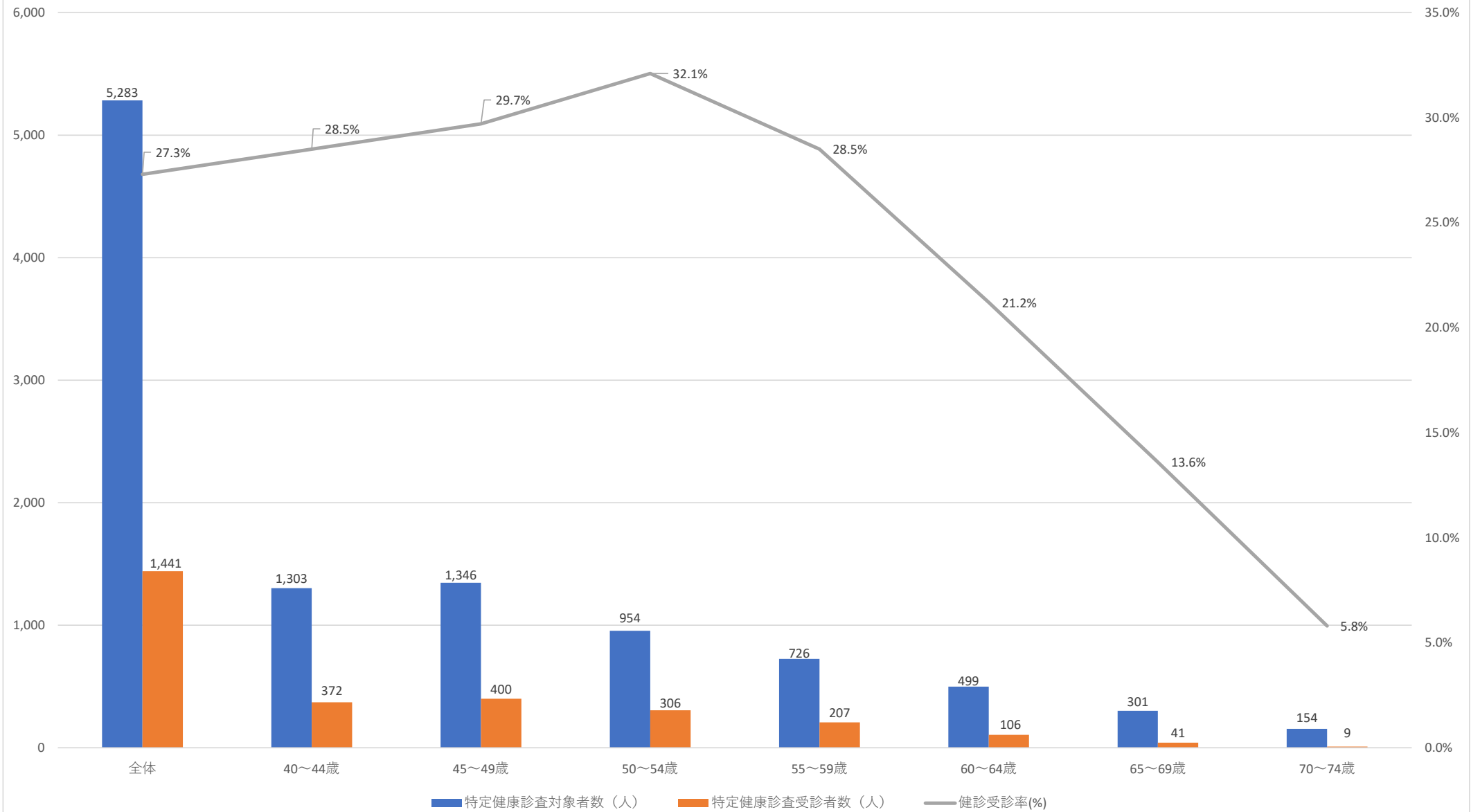
後発医薬品分析

-

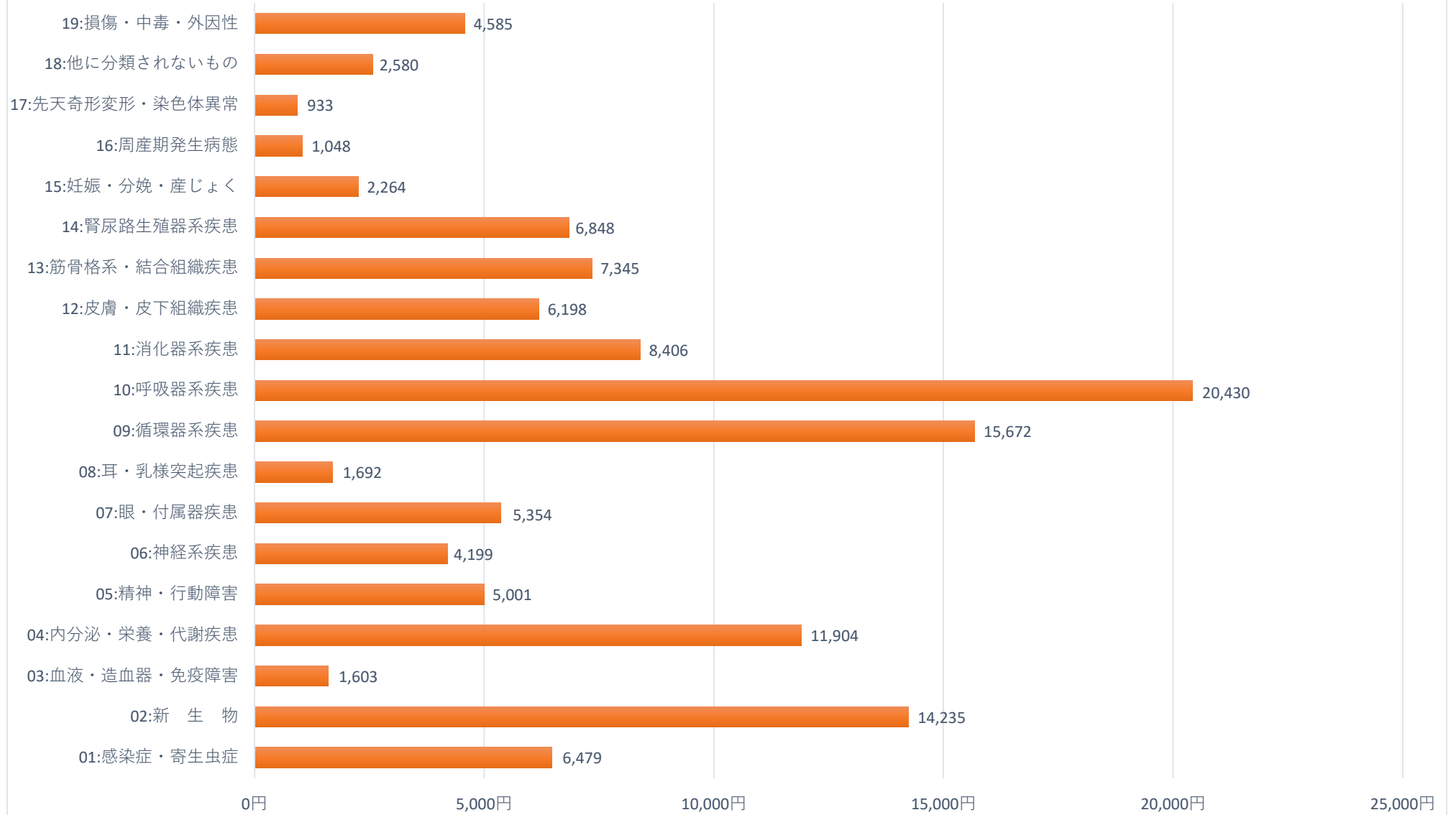
## 特定健診の実施状況（被保険者）



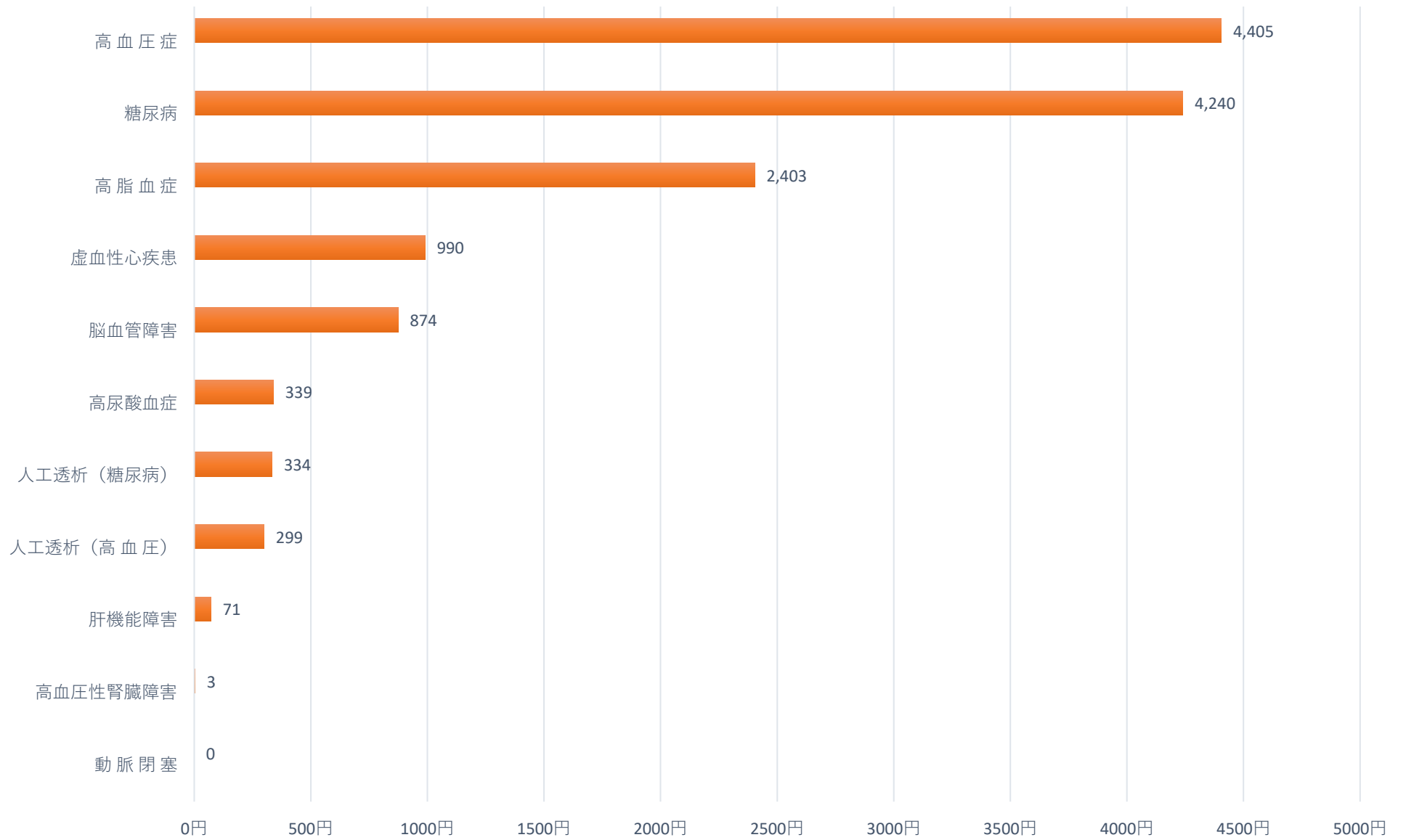
## 特定健診の実施状況（被扶養者）



## 疾病分類別一人当たり医療費



## 生活習慣病にかかる一人当たり医療費



# 糖尿病リスクフローチャート

HbA1c実施者数 7,630人 実施率 95.71%

\*服薬あり/なしは、問診回答で判定  
 \*3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症  
 いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す

\*3疾患治療の服薬あり  
1,245人 16.32%

\*3疾患治療の服薬なし  
6,385人 83.68%

\*糖尿病治療の服薬なし  
961人 77.19%

\*糖尿病治療の服薬あり  
284人 22.81%

HbA1c6.5%以上  
164人 2.57%

HbA1c6.4%以下  
6,221人 97.43%

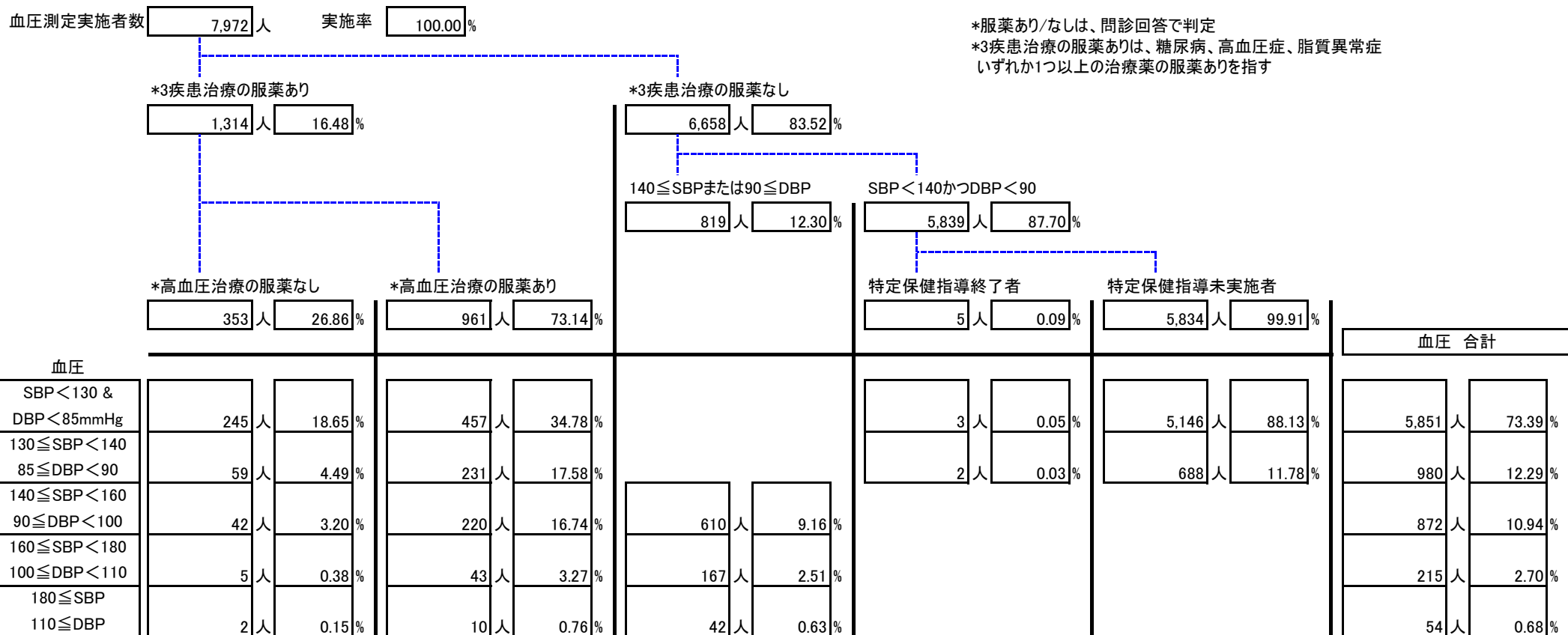
特定保健指導終了者  
6人 0.10%

特定保健指導未実施者  
6,215人 99.90%

HbA1c合計

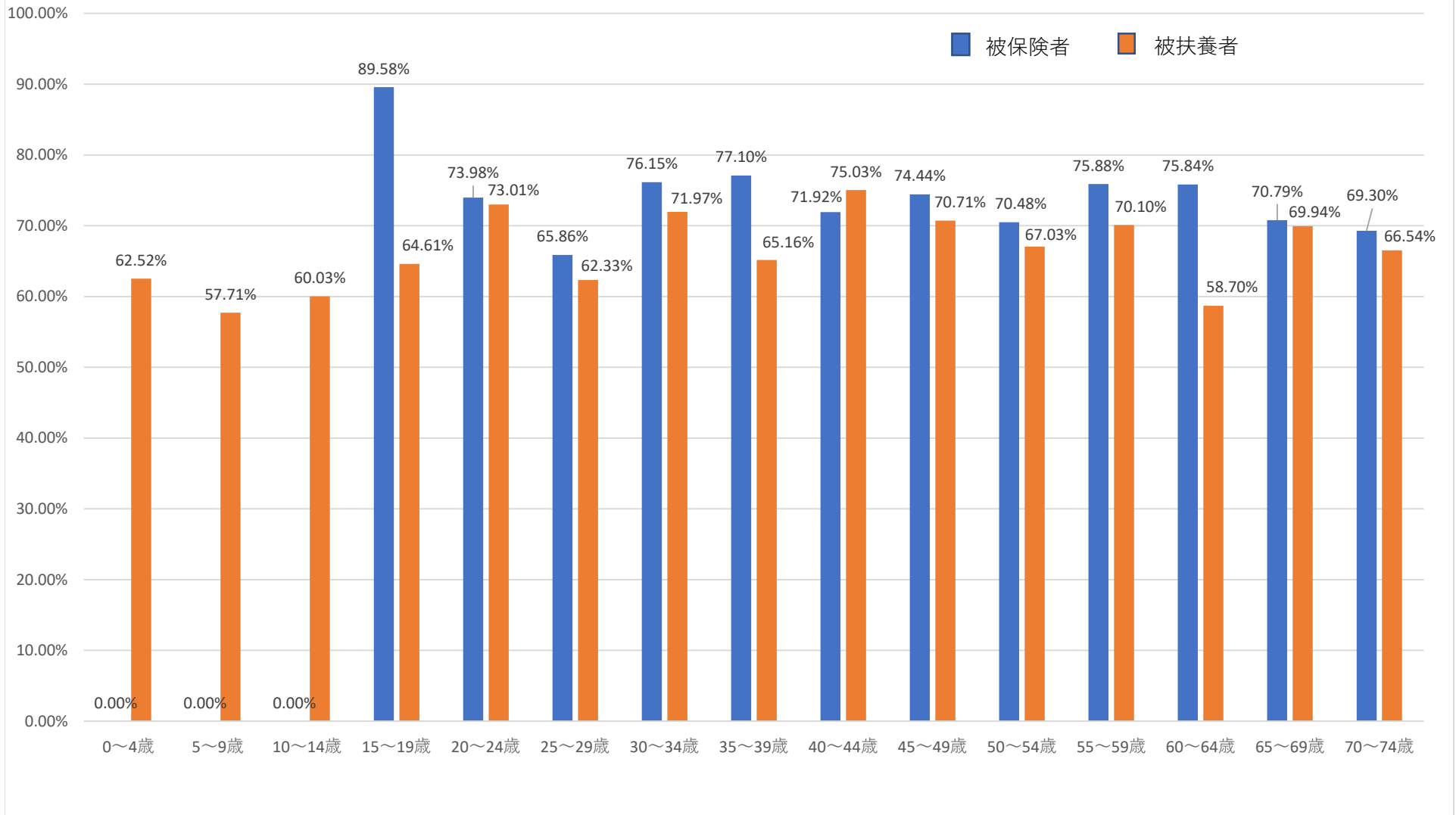
HbA1c 数値	*3疾患治療の服薬あり		*3疾患治療の服薬なし		特定保健指導終了者		特定保健指導未実施者		HbA1c合計	
~5.5%	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">412</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">33.09</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.48</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.03</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3,894</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">62.59</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4,314</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">56.54</span> %
5.6~5.9%	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">349</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">28.03</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">18</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.45</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.06</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1,880</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">30.22</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2,251</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">29.50</span> %
6.0~6.4%	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">137</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11.00</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">52</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4.18</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.00</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">441</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7.09</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">630</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8.26</span> %
6.5~6.8%	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">35</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2.81</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">55</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4.42</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">61</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.96</span> %			<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">151</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.98</span> %
6.9~7.3%	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">18</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.45</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">57</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4.58</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">36</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.56</span> %			<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">111</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.45</span> %
7.4%~	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.80</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">96</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7.71</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">67</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.05</span> %			<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">173</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2.27</span> %
[再掲]8.4%~	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.32</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">27</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2.17</span> %	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">39</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.61</span> %			<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">70</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.92</span> %

# 脳卒中・心筋梗塞リスクフローチャート





# 後発医薬品使用率



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア, イ	特定健診受診率が伸びない	→	事業主と協力し、特定健診の受診促進を行う。 また長期未受診者の対策を講じる。	
2	ウ, エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。</li> <li>生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い</li> </ul>	→	「循環器系」「内分泌・栄養・代謝疾患」は予防対策が可能であり、特定健診データからリスク者を特定できるため、最も介入効果が見込める疾病と位置づけ対策を講じていく。	✓
3	オ, カ	血圧値や血糖値が受診勧奨レベルであるにもかかわらず未受診者が多く存在する。	→	未受診者に対し、健診結果を活用し、早期に治療するよう受診勧奨を行うことを検討する。	
4	キ	当初（平成25年開始）に比べて後発医薬品への切り替え率が年々減少傾向。	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報（パンフレット他）による後発医薬品に対する認知度のUP。</li> <li>差額通知を送付する時期の検討。</li> </ul>	

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる拠点数が全国にあり、加入者も点在している。</li> <li>30歳代後半から50歳代前半に加入者構成が偏っている。</li> </ul>	→	加入者が全国に点在する当健康保険組合では、個々の加入者に直接的に働きかけることは困難であるため、事業主との協働（コラボヘルス）が必須である。まずは母体企業を重要協働先と位置づけ、協力的な事業所との事例づくりから開始。

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>被扶養者における特定健康診査の受診率が低い。</li> <li>特定保健指導対象者数に対し、指導実施率が低い。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所と協力し、被保険者を通じて受診を促す</li> <li>事業主との協働（コラボヘルス）により、受診しやすい職場の環境整備・受診への働きかけを促す。</li> </ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」等の生活習慣病を予防し、一人当たり医療費を低減させることを目的とする。

### 事業全体の目標

ハイリスク者の特定保健指導受診率を向上させる。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	受動喫煙防止にかかる分煙事業
--------	----------------

#### 加入者への意識づけ

特定保健指導事業	特定保健指導の重要性の周知
----------	---------------

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関誌発行及びホームページの作成
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
疾病予防	定期健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	巡回婦人科健診
疾病予防	巡回型肺がん健診
疾病予防	受診勧奨による重症化予防
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金事業
体育奨励	春季健康ハイキング（潮干狩り）
体育奨励	秋季健康ハイキング

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度			平成35年度
職場環境の整備												アウトカム指標								
予算措置なし	1	既存	受動喫煙防止にかかる分煙事業	母体企業	男女	20～74	加入者全員	2	ケ	-	ア	-	0	0	0	-	-	-	受動喫煙を防止することにより、非喫煙者の呼吸器系疾患の予防	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い
													社内での禁煙化及び分煙化	継続	継続	継続	継続	継続		
加入者への意識づけ												アウトカム指標								
特定保健指導事業	2	既存	特定保健指導の重要性の周知	全て	男女	40～74	加入者全員	3	ケ,コ	-	ア,キ,コ	-	0	0	0	-	-	-	加入者一人ひとりに健康に対する意識を高めてもらう	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い
													加入者全員に対し自らの健康状況や生活習慣病改善の必要性を認識してもらい、行動変容につながるよう、事業主と協働し積極的かつ継続的に加入者へ周知する。	継続	継続	継続	継続	継続		
個別の事業												アウトカム指標								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ケ	-	ア,キ	-	56,390	-	-	-	-	-	特定健診案内通知等を工夫し、健康受診への関心を高め、特定健診受診率向上を目指す。	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い
													・拠点数が全国に点在しているため、事業主と協力し、より受診しやすい体制を構築するため、利便性の高い医療機関との契約を拡充する。	・広報誌又はホームページでの受診への理解 ・事業主への啓発活動 ・引き続き利便性の高い健診医療機関の拡充	継続	継続	継続	継続		
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ケ,コ	-	ア,キ	-	6,500	-	-	-	-	-	特定保健指導の実施率向上による生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健診状況の改善	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い
													・事業主との協働(コラボヘルス)により、受診しやすい職場の環境整備 ・受診への働きかけを促す。 ・契約医療機関にて健診の機会を活用し併せて保健指導を行う。	・事業主との協働を継続。 特定保健指導対象者に対して受診することの重要性の周知を図る。 ・契約医療機関にて健診の機会を活用し併せて保健指導を行う。	継続	継続	継続	継続		
保健指導宣伝	5	既存	機関誌発行及びホームページの作成	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	1,596	-	-	-	-	-	加入者への情報提供	該当なし
													・機関紙(健保の運営、収支、健診等健康情報及び公示)の発行 ・ホームページによる情報提供	継続	継続	継続	継続	継続		
	7	既存	後発医薬品の差額通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	イ	-	ス	-	1,800	-	-	-	-	-	後発医薬品に切り替えることにより自己負担額及び医療費の削減を図る	当初(平成25年開始)に比べて後発医薬品への切り替え率が年々減少傾向。
													調剤レセプト等の内容から、4か月で2回以上の処方受診者及び月額差額500円以上の対象者を抽出し差額通知を実施。	効果分析しその結果を基に通知の時期・回数などを検討。	継続	継続	継続	継続		
疾病予防	3	既存	定期健診	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	ス	-	3,840	-	-	-	-	-	疾病の早期発見、早期治療、健康意識の向上	該当なし
													・利便性の高い医療機関との契約を拡充。 ・健診費用の補助	継続	継続	継続	継続	継続		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連							
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画													
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度			平成35年度						
アウトプット指標												アウトカム指標														
3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ス	-	キ	-	・35歳以上の人間ドック受診者に費用の一部補助 ・契約医療機関を拡充し利用者の利便性を図る	345,000	-	-	-	-	-	継続	継続	過去2年以上の未受診者に対し本人へ通知し受診するよう促す。	継続	継続	健康状態の確認と、疾病の早期発見、重症化予防に結び付ける	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い	
健診案内通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												人間ドック受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：95% 平成31年度：95% 平成32年度：95% 平成33年度：95% 平成34年度：95% 平成35年度：95%)-														
3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	30～74	加入者全員	1	ス	-	キ	-	・30歳以上の生活習慣病健診受診者に費用の一部補助 ・契約医療機関を拡充し利用者の利便性を図る	75,000	-	-	-	-	-	継続	継続	継続	継続	継続	健康状態の確認と、疾病の早期発見、重症化予防に結び付ける	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い	
健診案内通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												生活習慣病健診受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：95% 平成31年度：95% 平成32年度：95% 平成33年度：95% 平成34年度：95% 平成35年度：95%)-														
3	既存	巡回婦人科健診	全て	女性	30～74	加入者全員	1	ス	-	キ	-	・30歳以上の婦人生活習慣病健診受診者に費用の一部補助	5,600	-	-	-	-	-	継続	継続	継続	継続	継続	健康状態の確認と、疾病の早期発見、重症化予防に結び付ける	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い	
健診案内通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												巡回婦人科健診受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：90% 平成31年度：95% 平成32年度：95% 平成33年度：95% 平成34年度：95% 平成35年度：95%)-														
3	既存	巡回型肺がん健診	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ス	-	キ	-	・40歳以上の肺がん健診受診者に費用の一部補助 ・巡回車を使い実施	7,200	-	-	-	-	-	継続	継続	継続	継続	継続	巡回車を使い利便性を重視し、がんの早期発見を目指す	・一人当たり医療費は、「呼吸器系」「循環器系」「新生物」が特に高く、続いて「内分泌・栄養・代謝疾患」が高い。 ・生活習慣病関連では「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」にかかる一人当たり医療費が高い	
目標数に対する受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：90% 平成31年度：90% 平成32年度：95% 平成33年度：95% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												-					(アウトカムは設定されていません)									
4	既存	受診勧奨による重症化予防	全て	男女	30～74	基準該当者	1	イ	-	ス	-	健診結果にてHb1c及び血糖値の数値が受診基準を超える者で、レセプトに糖尿病名がない者について受診勧奨を通知	100	-	-	-	-	-	継続	継続	受診勧奨通知を送付した者のうち4か月経過しても受診履歴がない者に対し、再度受診勧奨通知をする。	継続	継続	早期受診による重症化の予防	血圧値や血糖値が受診勧奨レベルであるにもかかわらず未受診者が多く存在する。	
受診勧奨を通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：50% 平成31年度：53% 平成32年度：58% 平成33年度：60% 平成34年度：63% 平成35年度：65%)-														
3	既存	インフルエンザ予防接種補助金事業	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	年度内1回のみ 費用の一部補助	4,000	-	-	-	-	-	継続	継続	継続	継続	継続	インフルエンザの早期予防、医療費の節減	該当なし	
案内通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												予防接種率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：80% 平成31年度：82% 平成32年度：85% 平成33年度：87% 平成34年度：88% 平成35年度：90%)					医療費の節減									
体育奨励	8	既存	春季健康ハイキング(潮干狩り)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	年に一度木更津にて実施	1,500	-	-	-	-	-	継続	継続	継続	継続	継続	健康増進	該当なし
	募集通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)												募集数に対する参加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：90% 平成31年度：95% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%)													
8	既存	秋季健康ハイキング	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	年に一度ディズニーチケット等の補助等	2,000	-	-	-	-	-	継続	継続	参加率の推移を把握。参加したくなる実施場所の検討。	継続	継続	健康増進	該当なし	

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							

募集通知率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%) -	募集数に対する参加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：90% 平成31年度：90% 平成32年度：90% 平成33年度：95% 平成34年度：95% 平成35年度：95%)健康増進
---	--

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施  
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築  
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他